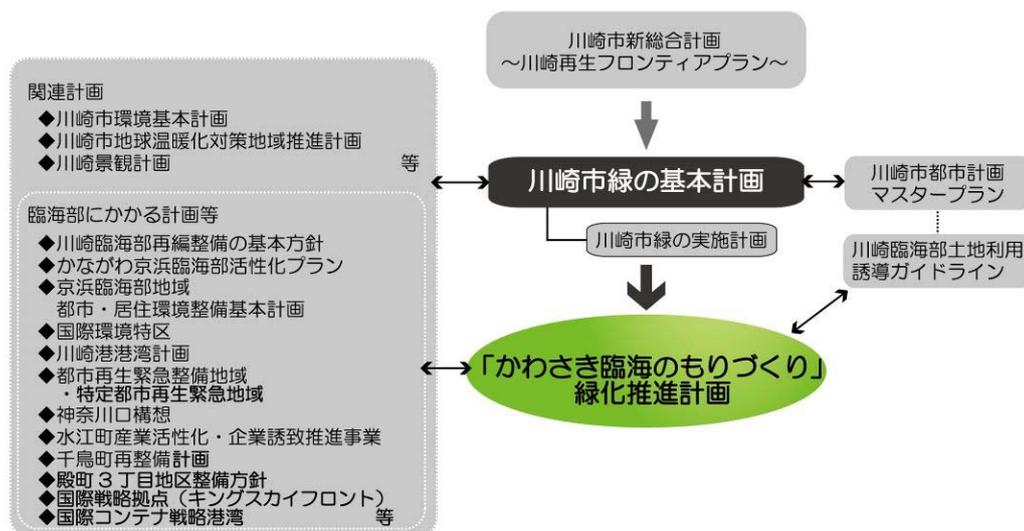




臨海部の緑に関する施策

1. 上位・関連計画

『かわさき臨海のもりづくり』緑化推進計画は、「川崎市緑の基本計画」をはじめとする様々な上位関連計画との関わりを持っています。



図Ⅱ-1 緑化推進計画の位置づけ

ここでは、『かわさき臨海のもりづくり』緑化推進計画』の上位計画である「川崎市緑の基本計画」の概要を示します。

◆川崎市緑の基本計画・川崎市緑の実実施計画

①計画の概要

緑の基本計画は、都市緑地法第4条に基づき策定する「緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画」のことで、平成7年10月に川崎市緑の基本計画「かわさき緑の30プラン」を策定しました。その後、国の新たな施策の施行や上位関連計画の見直し等に合わせ、平成20年3月に「川崎市緑の基本計画」を全面改定しました。

改定した緑の基本計画では『多様な緑が市民をつなぐ地球環境都市かわさきへ』を基本理念とし、長期的な視点から5つの緑の将来像と基本方針を示すとともに、「12のプロジェクト」、「プロジェクトを支える50の基本施策」と「基本施策を支える132の取組」を示し、具体的で実効性のある施策展開を目指しています。

このプロジェクトと基本施策において、『かわさき臨海のもりづくり』の促進がリーディング事業に位置づけられました。

また、緑の基本計画に掲げた基本方針と施策目標を着実に実行するため、3箇年ごとに事業推進計画を示した「緑の実実施計画」を定め、新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」の実行計画と整合させながら基本施策を推進しています。

②川崎区（臨海部）の方針

臨海部は、本市の基幹的な緑の軸の1つである「東京湾軸」に位置づけられ、区別方針において、次のような施策を展開することとしています。

●みどり軸での展開

○東京湾のつながりある緑の創出

- ・事業所と協働、連携し、「かわさき臨海のもりづくり」の共同アピールを行い、区別緑化計画を策定し、環境改善に向けた効果的な緑化推進を目指す。

●緑の拠点での展開

○緑の拠点をはじめとした公園緑地の整備推進と新たな緑地の創出

- ・浮島町公園等の機能の充実を図る。（緑の拠点）
- ・港湾緑地（臨海公園）の整備を推進する。（港湾緑地（臨海公園）の活性化、企業との協働と連携による緑地の創出）
- ・臨海部の緑の拠点の機能充実を図る。（川崎マリエン、東扇島西公園等）
- ・公園緑地の機能向上のため維持管理の充実に取り組む。

●エリアでの展開

○海風を市街地へ送る風の道の形成（海風を導く緑の軸線の形成）

- ・臨海部の幹線道路は、街路樹の育成環境に勘案し、街路緑化の再編に取り組む。
- ・「緑の軸線」を効果的に形成するため、事業所緑化の誘導・促進に努める。

○運河の冷涼な空気を蓄えるみどりの帯の形成

- ・内奥運河周辺地域においては、住工調和を基本とした地域緑化の普及促進を図る。
- ・内奥運河周辺地域の土地利用の再編を捉えて、親水空間や緑地の整備を誘導する。
- ・幹線道路や産業道路周辺の地域緑化を促進する。
- ・事業所との協働と連携により運河周辺の緑化の促進に努める。



図Ⅱ-2 川崎区緑の方針図

2. 臨海部の緑化推進に関する様々な施策

川崎市が目指すまちづくりの中で、川崎臨海部では、産業や都市の再生とともに、環境再生に取り組むことを掲げています。このことから臨海部の緑化を推進するため、様々な施策が進められています。

《川崎再生フロンティアプラン 第3期実行計画》

- ◆川崎殿町・大師河原地域の拠点整備 … 臨海部を先導する戦略的な拠点形成を目指すとともに、「殿町3丁目地区先行土地利用エリア土地利用基本計画」に基づいた、ライフサイエンス・環境分野での拠点形成を目指し、本市の環境総合研究所などの機能を導入する。
- ◆魅力ある緑地・親水空間の形成 … 臨海部で働く人々の就労環境の向上を図るとともに、市民が安全・安心に港湾緑地を利用できるよう、適切に維持管理を行い、良好な港湾環境の形成を図る。

《条例等に基づく緑化地の確保》

- ◆「川崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」に基づく「川崎市緑化指針」による緑化指導
 - ◆臨海部における緑化指導基準
 - ◆「環境影響評価に関する条例」に基づく緑地の確保
 - ◆「工場立地法」「川崎市工場立地に関する地域準則を定める条例」「川崎市特定工場緑地整備基本方針」
- 等

《川崎市が実施している緑化施策》

- ◆川崎市みどりの事業所の推進に関する協定
 - ◆公共性の高い事業所緑化「公共のみどり」の認定
 - ◆川崎市みどりの事業所推進協議会運営
 - ◆市民100万本植樹運動
 - ◆川崎市環境功労者表彰
 - ◆花の街かど景観事業
 - ◆市街地の保存樹林
 - ◆市街地の保存生垣
 - ◆市街地の保存樹木
 - ◆緑の活動団体
 - ◆生垣づくり助成
 - ◆緑化普及パンフレット・花の種の配布
 - ◆わがまち花と緑のコンクール事業
 - ◆公園緑地愛護会
 - ◆街路樹等愛護会
 - ◆公園管理運営協議会
 - ◆自主管理協定による公園等の維持管理活動
 - ◆公園緑地の整備・維持管理
 - ◆屋上・壁面緑化助成
 - ◆駐車場緑化助成
 - ◆まちの樹診断及び治療助成
 - ◆思い出記念樹の配布
 - ◆緑地保全協定
- 等

《事業者が中心となって行っている緑化関連事業》

- ◆川崎市みどりの事業所推進協議会 … 事業所によるみどり形成の推進を図ることにより、みどり豊かなうるおいあるまちづくりに寄与することを目的とした組織。
- ◆個別事業所 … 環境教育・学習、自然体験の取組

3. かわさき臨海のもりづくり共同アピール

「かわさき臨海のもりづくり」を推進するキックオフイベントとして、平成 22 年 10 月 31 日に「かわさき臨海のもりづくり共同アピール」を行いました。

(1) 目的

「川崎市緑の基本計画」では、牽引役となるリーディングプロジェクトとして、「かわさき臨海のもりづくり」を掲げています。その一環として、市民、事業者、行政が相互の理解と役割を認識しながら、協働してプロジェクトを推進していく意識共有を図ることが目的です。

(2) 概要

①共同アピールプレゼンテーション

「共同アピールプレゼンテーション」と題し、市民、事業者、行政が協働して、緑豊かな川崎臨海部を創造していくことを宣言しました。



共同アピール文



共同アピール宣言



参加者記念撮影

宣言文や「かわさき臨海のもり」の将来イメージなどをまとめたリーフレットを作成し、イベント参加者に配布しました。



図Ⅱ-3 共同アピールリーフレット

②植樹式・記念碑除幕式

緑化プロジェクトの第1歩として、塩浜小緑地及び塩浜72号線の植樹を行いました。また、共同アピール文を記した記念碑の除幕式を行いました。

塩浜小緑地にはシンボルツリーとしてサルスベリを植え、その下にはヒメイワダレソウ、マツバギクを植えました。

塩浜72号線には街路樹としてワシントンヤシを、その根元にマツバギクを植え、海辺の特徴的な街路景観に再整備しました。



記念碑除幕式



植樹式